

こすもす認定こども園における自己評価

令和5年度

- A: たいへんよい
- B: よい
- C: 一部検討を要する
- D: 改善を要する

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	評価の内容	評価	意見・改善策
保育目標について	保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた目標を設定しているか	A	0.1.2歳児は、「個々の発達段階を踏まえ、その子に見合った自立の方向性、遊びの環境を配慮し見守る」3.4.5歳児は「子ども達が興味や関心を持ったことを活かしながら一人ひとりが主体的、対話的で深い学びにつながるあそびを展開する」とし、子ども一人ひとりの姿を見守ること、子どもの姿ベースで計画や記録を作成することを基本とした。
	目標は、各施設や地域の特色を生かしているか	B	
	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	B	
	目標は、前年度の反省を生かし全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	B	
保育について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	A	保育の中での対応や言葉がけ(Iメッセージ)を意識し、子ども達が自己肯定感を抱けるような関わりを大切にした。又、子ども達の意志を尊重し、あそびを選べる環境、遊び込める環境を保障できるよう努めた。 幼児の異年齢クラスでは年上の子が年下の子に教えてあげたり、困っていると声をかけたり、助けたりと優しく思いやる場面がたくさん見られた。
	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか	B	
	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	B	
	素材・用具を適切に活用しているか	A	
	評価結果をもとに保育の改善に努めているか	A	
行事	行事の種類や実施回数は適切か	A	ちびっこレクリエーションは、新川小の体育館で行った。2部制にして子どもの人数を減らすことで祖父母や兄弟も一緒に参加して頂けたことが良かった。4年ぶりに個人面談を行うこともできた。 参観日や発表会は、クラス単位で行った。コロナが減ってきたとはいえ、時々感染者が出ると周囲が敏感になるので、そこを考慮しながら進めることを心掛けた。 5/8よりコロナが5類に移行されたので、行事についてもどのように開催するか、その都度、職員間で話し合うようにした。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	B	
	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか	B	
	計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	A	
	保護者の願いや意見を取り入れているか	B	

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件について

項目	評価の内容	評価	意見・改善策		
経営・組織	運営	能率的・合理的な運営組織になっているか	B	それぞれの係が、概ね適切に機能していた。しかし避難訓練時の役割分担の徹底が難しく、自分の役割がわかっていなかったり連絡ミスが起こったりしたので、訓練ごとの内容や役割を事前に周知し、実際に非常事態が起こった際のイメージをすることやフローチャートを再度見直し、改善していきたい。	
		係りや仕事の分担・割り当ては適切か	B		
		各種会議を適切かつ効率的に進めているか	A		
		職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか	B		
		打合せ回数、時間、内容は適切か	A		
	年齢別・クラス運営	年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか	A	週日案の記入により、現在の子どもの様子から次週の目標やねらいを設定していくことで、子ども達に無理のない活動を展開することができていた。 保育者は子ども達が今、何に興味・関心を抱いているのか、困っていることはないかという目線を忘れず、見守る姿勢を大切にしたい。	
		年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか	B		
		同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	B		
		年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか	B		
	保健・安全指導	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	A	毎月の避難訓練は、計画通り進めることができた。今年度は、園児や職員の少ない土曜日の訓練も実施してみた。 乳幼児の安全確保のため、家の中での危険、登降園児の交通安全、やけど、誤飲等、園だより等を通してご家庭に発信し、共有できるようにした。	
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	A		
		乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか	B		
	研究・研修	園内研修	研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか	A	園内研修は定着し、毎月、常勤の2つのメンバーで絵本やエピソード記述、誤飲誤嚥、救急対応、不適切保育、重大事故等の課題に取り組んだ。 園外研修は youtube 研修に取り組むことで、より多くの職員が共有することが出来た。特に重大事故の研修はほとんど全ての職員が研修を受けることが出来、その後、集まって話し合う時間を設けた際には普段の保育の中での気付きや疑問を出し合うことで、より理解が深まったのを感じる。
			園内研修の計画・運営は適切か	A	
			研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか	B	
研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか			A		
園外研修		各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図り、園内に還元しているか	A		
		各種研修会への参加体制の充実を図り、その内容を園内に還元しているか。	B		

項目	評価の内容	評価	意見・改善策	
情報について	乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っているか	A	個人情報の取り扱いは、職員にも周知し、重要書類についても厳重に管理している。表簿は各担当者が責任を持って管理し、必要に応じて作成処理することができている。	
	公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	A		
	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか	B		
施設・設備	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか	A	安全点検を毎月行い、担当者がチェックリストに記入した。園内外で破損箇所を発見した時は、すぐに対策を考え実行した。外出する際はクラス、人数、引率者、携帯を事務所に伝え、事務所で散歩計画表に記入するようにした。	
	遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか	B		
	不審者等に対応する周到的配慮を行っているか	B		
出納・経理	各種会計を適正かつ適切に処理しているか	B	会計処理を委託し、適切な処理ができている。保育料等を口座振替とし、現金での納入は速やかに入金処理ができている。	
開かれた保育園づくり	地域との交流	日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか	B	姉妹園、小学校、ミニ児童館、いるかクラブ等との行事を計画し、交流する機会を設けている。コロナが少なくなったが、インフルエンザ等の感染症の流行も見られたので、状況を見ながら進めるようにした。
		乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか	B	
	保護者支援	地域の子育てセンターとして、保育室等を開放しているか	B	子育て支援として「いっしょにあそぼう」を開催し、見学に来た親子があそびに来る機会があった。園では個人面談を行い、ゆっくり話す時間を作ることで保護者と担当職員との距離がより近くなったと感じた。
		職員による育児に関わる「子育て相談」は充実しているか	B	
	情報の発信	園だより、クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか	A	きつずノート（総合連絡アプリ）を使用し、園やクラスからのお知らせやお願い等、配信が定着した。姉妹園、小学校には毎月、おたよりを届けた。
		行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか	B	
	外部評価	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	B	行事後のアンケートにより、保護者からの感想やご意見を頂き、今後の行事に活かすようにしている。